



東アジア市場拡大7月25日(火)から香港・台湾にトップセールス

若手農業者と市長が香港・台湾を訪問。

クラウンメロンの香港での新規取引を活発化するとともに、海外輸出に関して研修する機会を創出。

平成28年度、タイ・マレーシアへの農産物の海外輸出加速化事業を実施し、東アジアでクラウンメロンを取り扱う大手の総合食品企業「マキシムグループ」と繋がりを持つことができました。

今回、若き農業者が海外輸出に関して研修する機会を設け、クラウンメロンを足掛かりに、他の袋井産農産物についても輸出促進を狙います。同時に、マキシムグループとのコネクションを生かし、海外輸出が本格化するクラウンメロンの香港での新規取引を活発化させるため、市長がトップセールスします。

- 1 目的** 香港・台湾におけるクラウンメロンの販路拡大とともに、袋井産農産物の輸出促進に向け若手農業者の視察研修を行う。



- 2 日程** 平成29年7月25日(火)～29日(土) 4泊5日

- 3 参加者** 全17人(うち現地合流1人)

- (1) 農業者：11人

袋井市農業振興会のメロン部会、茶業部会、耕種部会から募った輸出に意欲的な若手農業者、静岡県温室農業協同組合クラウンメロン支所長、女性部員

- (2) 関係機関、団体：6人(現地合流1人)

市長、市職員、JETRO浜松職員、JA静岡経済連職員、遠州中央農協職員、静岡県職員(現地合流)

4 内容

【香港】

- (1) **クラウンメロンケーキPRイベント**

マキシムグループのベーカリー部門の店舗(ブランド)「東海道arome(アローム)」で実施。会場となるセントラル駅前の店舗は、国際的な金融・ビジネス街がある繁華街の中心で平日・休日を問わず多くの人々が往来する屋外で実施。

香港メディアのみならず、通行する一般客や観光客へもPRする。

どまん中 ふくろい

【イベント内容】

- ・香港用のクラウンメロンPR動画の上映
- ・袋井市長からパトリック氏へのメロン贈呈
- ・JETROからパトリック氏への日本食サポーター店認定証贈呈
- ・クラウンメロンケーキ入刀セレモニー、記念撮影
- ・香港メディアレセプション

【マキシムグループの概要】

製造食品・レストラン・ケータリングサービスを通じ毎日約60万人へ食を提供。2000年には米コーヒー最大手の「スターバックス」とも合弁企業を設立。香港・中国で店舗展開。日本食は「元気寿司」や「千両」、「博多一風堂」など香港・マカオ、中国本土でも展開。

(2) マキシム社ベーカリー部門社長との面談

クラウンメロンケーキの継続的な販売を働きかけるとともに、メロン以外の本市の農作物を紹介する。

【マキシム社ケーキ&ベーカリー部門の概要】

マキシムグループの出発点ともいえる部門で、1960年代のケーキコーナーから始まり、現在は5つのブランドで販売展開。この中には、香港最大の店舗数を誇るブランドや、伝統的な技術で作るケーキの店、高品質な材料を使用したスイーツの店などがある。今回、クラウンメロンケーキを販売する「東海道アローム」も5つのブランドの中の一つであり、プレミアムのある日本のケーキやスイーツを販売するブランドとして、香港島で75店舗以上を展開。

(3) クラウンメロン販売店舗を視察

(4) JETRO香港事務所への表敬訪問

事務所長と面談。本市産農産物の紹介及び今後の輸出促進に関する協力を依頼。

(5) 静岡銀行香港支店長面談

香港の経済や金融の状況について意見交換。

【台湾】

(1) 台湾屏東県政府訪問、県知事及び関係部長と面談

本市産農産物の紹介、インバウンド観光のPR。

(2) JETRO台北職員、静岡県台湾事務所職員との面談

台湾での日本産農産物輸出の事例や、茶をはじめとする品目の輸出規制に関する動向について情報交換、輸出促進にあたっての協力依頼。

(3) 将来の農産物輸出の可能性を見据えた取組

先進的な農産物輸出取組事例を視察（台湾屏東県）や日本産農産物を取り扱うバイヤーとの面談、市場視察など。

(4) 香港ラグビー協会を訪問しCEOと面談

2019ラグビーW杯開催に関連したインバウンド観光のPR。

5 担 当 産業環境部農政課農業振興係 電話：0538-44-3133